

活動分野	森に親しむ講座（昼の講座）		
タイトル	植物の驚くべき子孫繁栄の戦術とは？		
実施日時	平成30年6月21日（木）10時～12時		
実施場所	千葉市文化センター		
受講者	33名	FIC会員	15名

活動の内容

平成30年度前期最後の講座を担当しました。

植物の歴史をはるか150億年前のビッグバンより講義を起こしました。

その後の地球誕生、海中で葉緑素を持つ細胞の誕生、陸への進出、コケ植物から被子植物への進化の過程の長い歴史をざっくりと説明しました。

現在みられる植物はその進化の最前線にあり熾烈な生存競争に生き残ったものである。それには植物のある部分を変化させるなど巧妙な子孫繁栄の戦略があった。

今回は野外講座ではゆっくりと観察できない種の実物を持参し、説明と同時に実物を手で触れてもらうことにした。例 3裂したスミシの果皮片、ポダイジュ、オオモクゲンジ、モクゲンジ、オキナワウラジロガシ、サキシマスホウノキ、オヒルギ、メヒルギ等。

また受講者に問題を提示し一緒に考える参加型にした。

皆さん以下の問題、すべて回答できますか？

- ① 動物散布：[リス]は何語？（念のため英語ではありません）
- ② 水流散布：[ココヤシ]は上陸をどうして知るの？
- ③ 動物、水流散布：[オニグルミ]は雪道に欠かせないあるものに利用されている。あるものとは？
- ④ 山で遭難した。里にたどりつく道しるべとなる植物は？（漢字で車前草と書きます）

最後に[昼の講座]では久しぶりに種の模型飛ばし（ニワウルシ）を参加者全員で楽しんだ。

